

定例法座「三日講」のご案内

本堂、庫裏の工事に伴い、場所の変更や中止をさせていただいておりました「三日講」を、四月より再開させていただきます。
これまで参加されていた方だけでなく、少し興味を持たれている方も是非ご参加ください。三日講費等の詳細については、別院までお問合せください。

四月十三日(土) 十時〜
味読正信偈
四月二十三日(火) 十時〜
歎異抄を読む

仏前結婚式



この度、出張にて別院輪番導師による仏前結婚式が執り行われました。
誠にありがとうございます。

江口 貫応さん
このかさん

結婚式予約状況について

現在の予定では、五月以降から結婚式を執行可能の予定となっております。日程の仮押さえなどのお問合せも順次入ってきております。五月以降に別院での挙式をご検討の方は、別院までお問合せいただきますようお願いいたします。

五月二十五日 某氏
七月二十九日 某氏
十月五日 某氏
十一月三十日 某氏
九月 某氏

別院新寺務所の御案内

庫裏の引き渡しに伴い、新庫裏(書院棟)に移転しております。
寺務所に御用の方は、本堂向かって左側の正面玄関よりお入りください。



宗宝宗史蹟
親鸞聖人岡崎草庵跡
真宗大谷派
岡崎別院

〒606-8335
京都市左京区岡崎天王町二六
TEL 075-771-2921
Fax 075-748-1665
Mail info@okazakibetsuin.com

維持費のお願い

四月より新年度となります。ご門徒の皆様には、例年お願いしております別院維持運営費のご案内を同封させていただきます。内容をご確認いただき、皆様のご協力をお願い申し上げます。

災害救援義援金箱 設置

当院では、世界で広まる戦火、能登半島やその他の災害に対する支援として、本堂内に災害救援義援金箱を設置し、義援金を募っております。御参詣の折には、是非皆様の御協力、お願い申し上げます。



私を動かさせている大きな力

第59号
令和6年(2024年)
4・5・6月号
発行
岡崎別院
輪番 福田大

庫裏寺務所棟 会館棟 完成

約二年にわたる庫裏寺務所、会館棟の工事が完了しました。引き続き土木工事等の残工事が行われます。
二面より、建物内の詳細について掲載していますので、ご覧ください。



二〇二四年元日の夕刻、どの家庭にあっても、皆が共にリラククスし、楽しいひとときの中を襲った能登半島地震。あれからすでに三ヶ月が過ぎようとしている。元日から、連日のように犠牲者や被災の様子がテレビや新聞で報道され、それを観て、何も出来ない自分の無力さと非力さを報せられると同時に、その報道を見聞きする度に、北陸にいる友の顔が臉に浮かびつつも、連絡する勇氣すら持てない薄情者の自分がここにいます。
世界で起こっている戦火によってお亡くなりになられた方、負傷された方、住処を無くされた方に対しては連日に亘って、報道がされているが、この事に対しては、ただ何も出来ずにいる私自身の無力さと非力と薄情者の事実が白日の下に晒されてくる今日この頃である。
いつの時代にあっても、天変地異と戦火の中を生きて来たのが人間の歴史ではなからうか。その歴史の中で苦しみ、迷い、怯え、不安を抱えながら生きて行く中で、人は、哲学や文学を求めたり、自分を問うてくる宗教を求めたりしてきたのではなからうか。今、悲しみを縁として新たな何かを求めて、人生の節目に立つておられる方々も多いのではなからうか。
人間は、誰もが生きるなかで、幾度もの節目を迎える。また、その中で迷い、苦しみ、怯え、不安を感じている。
「不安取られたら生きようないわ。不安はわたしのいのちだから」と、山崎ヨシ氏(金沢市の御門徒)は述べられた。

私自身も当に、今、人生の節目に立っている一人である。その一つは、昨年来、自らの悩みでもあった癌の摘出手術を今年の二月に約三週間の入院期間を経て終えた。これからの歩み(六月には、六十五歳の高齢者の仲間入りをするという大きな)節目にあって、病(癌の転移の不安)と老(出来ていたことが出来なくなる怯え)の不安だらけである。また、今一つは、五月に竣工を迎える当院の今までの歩みと、これからの歩みの節目(別院の運営や教化の難しさへの悩み)を迎え、この先の緊張と悩みで充ち満ちているのが正直なところである。
不安も悩みも怯えも、苦しみも無くしたい。それが人間の本音かも知れない。しかしそれらを無くせば、同時に生きる力そのものも萎えてくるのではなからうか。
不安や悩みや怯えや苦しみを生きていく原動力として、「私自身の事実を仏法に聞いていく」ということこそが、私を動かせる原動力なのかもしれないと、私自身今、思わせられることである。

法要報告

歳暮勤行

十二月三十一日午後四時より、別院本堂にて歳暮勤行が厳修されました。一年の節目として、勤行後列座の感話・輪番による法話がありました。

修正会

一月一日午前八時より、年始の修正会が厳修されました。当院は、この一日を始まりとして、毎日和讃を回り口(一から順番に)でお勤めしております。勤行の後、輪番より新年の挨拶・法話がありました。※整備事業の為、本年も別院新年会は中止とさせていただきます。

入仏式

書院、法要ホール、納骨堂に納入されたお内仏にて、三月四日に入仏式を執り行いました。これからこのご本尊の前で、これまで別院に御縁のある方、これから新しく御縁をいただいく方々と共に、合掌礼拝、仏法聴聞していく場所として開かれていきます。

御寄付御礼披露

この度の岡崎別院総合整備事業に際しまして、現在、左記の如く貴重な御懇志を賜りました。紙面をお借りして改めて厚く御礼申し上げますと共に、ここに御進納者様方をご披露させていただきます。有縁の皆様には、今後ともご理解、ご支援の程よろしく願ひ申し上げます。

御寺院様
岡崎別院奉賛会様

庭園池浄水設備一式
本堂・山門幕一式

- 山城第二組 唯明寺 亀田 晃巖様 壹佰萬円
- 山城第二組 圓重寺 小山 洋様 壹佰萬円
- 山城第二組 澄江寺 菅原 信頭様 壹佰萬円
- 山城第二組 専光寺 中川 専精様 壹佰萬円
- 山城第二組 徳圓寺 細川 成之様 壹佰萬円
- 山城第一組 新道寺 磯野 淳様 壹佰萬円
- 山城第一組 正林寺 大橋 法子様 壹佰萬円

御門徒三日講員等関係者様

- 上島三代子様 壹佰萬円
- 法名 釈由蓮 伍拾萬円
- 某氏 参拾萬円
- 元山城第二組門徒会会長 狩野耕様 壹佰萬円
- 池田 尚史様 参拾萬円
- 岡本 修様 参拾萬円
- 北海道第十六組昭法寺 伊藤 考順様 壹佰萬円
- 旭川市 塚本 信樹様 壹佰萬円

整備事業報告

年明けの二〇二四年一月中旬より、京都市建築課その他各所による検査が行われ、一月二十九日に工事業者様より正式に建物引き渡しされました。

書院棟

今後別院の寺務の拠点となる棟が書院棟となります。正面玄関入口上の屋根には、以前の庫裏にありました破風が施工されています。玄関正面を入りますと、畠中光享師作の「初転法輪」の絵がかけられています。厨房、会議室等の什器も搬入され、様々な教化活動やお斎の場となる準備が行われています。また、今回の整備事業に際して、夜間は別院施設全館にセコムの警備がかかります。

お内仏の納入

書院棟一階の座敷(四十八畳)に、以前の書院にあったお内仏を、この度若林仏具様に修復し納入いただきました。お内仏の左右には、畠中光享師作の蓮の絵が描かれた襖が入りました。

初転法輪

釈尊の最初の説法のことであり、かつての仲間である五人の修行者達(五比丘)に語られたのが始まりです。その御教えが、先人たちにより語り伝えられ、今の私たちまで相続されています。

会館棟

会館棟には、一階に法要ホール(ご門徒の法事・葬儀の会場)があり、二階には納骨堂ができます。二月中旬に京仏具 小堀様に納骨壇一式を納入いただきました。

法要ホール

法要ホールのお内仏を、京仏具小堀様に納入いただきました。

納骨堂

多くのご門徒方からお問合せをいただいております。納骨壇の搬入が完了しました。納骨堂をご検討されている方は、一度現地を見ていただくことも可能ですので、見学のご希望の方は別院までご連絡ください。正式なご案内は、準備が整い次第、ご連絡させていただきます。

当院の竣工について

三月現在の時点では、当院の工事が終わり竣工となるのが5月以降の予定となっております。残工事として外構、庭園、舗装工事などが残っておりますので、ご来院の際は事前にご連絡いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



↑法要ホール入仏式



↑修正会の法話



↑ 畠中光享師作「初転法輪」



↑ 書院のお内仏と畠中光享師の蓮の絵